

R6 年度第 1 回 小角散乱< 実験デザイン解析>研究会

主催：中性子産業利用推進協議会

茨城県

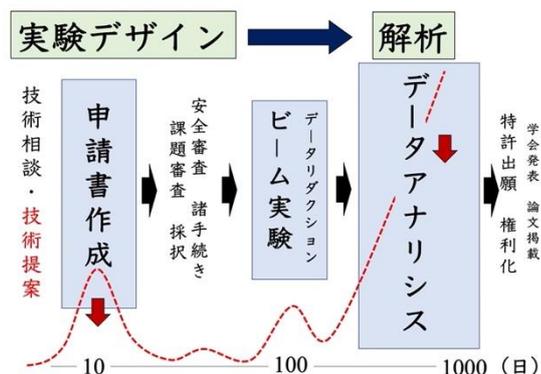
(一財) 総合科学研究機構 (CROSS)

中性子科学センター

中性子産業利用推進センター (CROSS)

開催日時：2024 年 3 月 19 日

会場：エッサム神田 1 号館 5 階イベントホール 2



研究会の趣旨

金属、セラミックス、高分子からなるさまざまな「製品」について、原子炉、加速器の中性子施設で小角散乱の測定を行うためには、申請書の作成、試料環境などの準備が必要です。また、実験後に待ち受ける「データリダクション」、「データアナリシス」に必要な小角散乱の基礎知識が必要です。本研究会では、“手軽に”そして“おおらかに”中性子が利用できるように、「実験準備」と「データ解析」の双方に力点を置き、ユーザーの皆さんと共に議論、情報交換をして行きたいと思っております。相補的な計測技術が一つの研究会で勉強できるように、X線との共通点、中性子線の特殊性などに触れながら、最新の電子顕微鏡の観察技術も学びます。今回は「X線に学ぶ」というテーマで放射光からラボ X 線の小角散乱についての最新情報に関する講演をお願いしました。

プログラム

13:00-13:10 開会挨拶 小泉 智 (CROSS 中性子産業利用推進センター)

13:10-13:40 表和彦 (リガク X 線研究所所長)

13:40-14:20 奥田浩司 (京都大学 教授)

14:20-14:30 休憩

14:30-15:10 八木直人 (東北放射光)

15:10-15:50 増永啓康 (SPring-8)

15:50-16:30 高崎祐一 (アントンパール)

16:30-17:00 閉会挨拶 CROSS 中性子産業利用推進センター 峯村 哲郎

【連絡先】

中性子産業利用推進協議会： 小室 又洋 m_komuro@cross.or.jp

CROSS 中性子産業利用推進センター： 峯村 哲郎 t_minemura@cross.or.jp